

岐阜県の森林・林業

# 森もり林のたより

岐阜県立森林文化アカデミーでは、  
令和2年度入学者を募集しています。

No.795  
2019 December

12

FREE

ご自由にお持ちください。



●講義にて学んでいる森と木のエンジニア科学生、  
長野林業短期大学校学生及び森林施業プランナー研修の参加者達

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail [sanrinag@quartz.ocn.ne.jp](mailto:sanrinag@quartz.ocn.ne.jp)

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所 申込(問合せ)先/TEL
12月10日(火)~ 12月11日(水)	WOODコレクション (モクコレ)令和元年	●時間：12月10日(火)10:00~17:30 12月11日(水)10:00~16:30 ●木材の大消費地である東京でのさらなる利用拡大に向けて、41都道府県参加の下、日本各地の地域材を活用した建材や家具などの展示商談会を開催します。 ●入場無料 ●詳細は専用サイト <a href="http://www.mokucolle.com">http://www.mokucolle.com</a> をご覧ください。	東京ビッグサイト 南3・4ホール (東京都江東区有明3丁目11-1) 県産材流通課加工流通係 TEL 058-272-8486
12月14日(土)	連続講座 「野生動物を知る」 (第6回)	●内容：効果的・効率的アライグマ防除対策を目標として~外来種管理のキーポイント~ ●講師：池田透氏(北海道大学大学院/教授) ●時間：13:00~15:00 ●参加費：無料 ●対象：一般市民 行政職員 関係者等 ●事前申込期限：2019年12月12日(木) (当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります)	岐阜大学 全学共通教育棟 102 番教室 (岐阜市柳戸 1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX:058-293-3416 メールアドレス: rcwm@gifu-u.ac.jp URL <a href="https://www.1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/">https://www.1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/</a> Facebook <a href="http://www.facebook.com/gurcwm/">http://www.facebook.com/gurcwm/</a>
12月21日(土)	ジビエを食べよう ~シカから考える 森のこと~	●内容：猟師による狩猟の現場や狩猟民の知恵についての実演・解説を聞き、野生鳥獣の解体実演、調理実習、試食を行います。古くから資源として利活用してきた歴史や有害獣という側面を知り、体験から狩猟民の知恵を学びます。 ●時間：9時00分~15時30分 ●対象：一般(子連れの参加可能) ●定員：20名(先着) ●参加費：大人3,000円、中学生以下1,500円、3歳以下無料 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。 ※実際に食べる肉は「富士山麓ジビエ」にて処理されたものです。	森林文化アカデミー 里山獣肉学舎 及びその周辺 (美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail <a href="mailto:ac.open.college@gmail.com">ac.open.college@gmail.com</a> URL <a href="https://www.forest.ac.jp/events/deer_meat">https://www.forest.ac.jp/events/deer_meat</a>
12月25日(水)~ 1月14日(火)	令和2年度 森林文化アカデミー 入学試験(第3回) 願書受付期間	●森と木のエンジニア科(入試3)1月25日(土) ●森と木のクリエイター科(入試3)1月26日(日) ●入学願書(学生募集要項)については、ホームページ( <a href="https://www.forest.ac.jp/">https://www.forest.ac.jp/</a> )からダウンロードできます。	森林文化アカデミー (美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail <a href="mailto:info@forest.ac.jp">info@forest.ac.jp</a> URL <a href="https://www.forest.ac.jp/">https://www.forest.ac.jp/</a>
1月11日(土)	連続講座 「野生動物を知る」 (第7回)	●内容：イノシシの生態と最新の取り組み ●講師：平田茂樹氏(農研機構/上級研究員) ●時間：14:00~16:00 ●参加費：無料 ●対象：一般市民 行政職員 関係者等 ●事前申込期限：2020年1月9日(木) (当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります)	岐阜大学 全学共通教育棟 102 番教室 (岐阜市柳戸 1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX:058-293-3416 メールアドレス: rcwm@gifu-u.ac.jp URL <a href="https://www.1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/">https://www.1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/</a> Facebook <a href="http://www.facebook.com/gurcwm/">http://www.facebook.com/gurcwm/</a>
1月12日(日)	森のしごとセミナー ~森と働く、森林と暮らす~	●森と働く、森林と暮らす」をコンセプトとしたセミナー&林業就業相談会を開催します。 ●内容： ●深津智男氏(映画「WOOD JOB!」(ウッジョブ) 神去なあな日常」プロデューサー)による講演 ●森林技術者の皆さんによるトークセッション ●林業就業相談会 など ●参加費等：無料、事前予約不要	ウイנקあいち「展示場」 (愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38) 岐阜県森林公社「森のジョブステーションぎふ」 0575-33-4011 (代表)
1月18日(土)	岐阜県みどりの少年団 活動発表大会	●みどりの少年団員が日頃の活動などを発表します。航空宇宙博物館の見学もあります。 ●時間：10:00~15:00(予定) ●参加者の申し込みを受け付けています。(12月25日まで) ●博物館の入館料：みどりの少年団員及び引率者は無料。保護者等は入館料が必要です。	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 (各務原市下切町 5 丁目 1 番地) 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail <a href="mailto:gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp">gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp</a>
3月7日(土)	シカ革でクラフト しよう(仮)	●内容：野生鳥獣の恵みはお肉だけではなく、シカの「皮」をなめした「革」を使ってクラフトを行います。革の色・縫い糸の色を組み合わせ、オリジナルの作品を作りましょう。 ●時間：10時~15時 ●対象：中学生以上(未成年の場合、保護者同伴) ●定員：20名(先着) ●参加費：3,000円 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。	森林文化アカデミー および美濃市内 (美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail <a href="mailto:ac.open.college@gmail.com">ac.open.college@gmail.com</a> URL <a href="https://www.forest.ac.jp/events/deer_leather/">https://www.forest.ac.jp/events/deer_leather/</a>
3月14日(土)	リラックス・ラン ~森林浴×トレッキング ×ときどき、ラン~	●内容：森林文化アカデミーの演習林の全長約3kmのコースを、自然観察をしたり五感を使った森林浴を行ったり、ときどきジョギング程度に走ったり…とアクティブに活動します。希望者はスマートフォンの無料アプリを使って脈拍測定などによる活動前後の変化も体験できます。 ●時間：9時30分~12時30分 ●対象：一般 ●定員：15名(先着) ●参加費：2,500円 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。	森林文化アカデミー演習林 及びその周辺 (美濃市曾代 88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail <a href="mailto:ac.open.college@gmail.com">ac.open.college@gmail.com</a> URL <a href="https://www.forest.ac.jp/events/relax_run/">https://www.forest.ac.jp/events/relax_run/</a>

目次 Contents	イベントカレンダー(一般向け).....2
	100年先の森林づくりシリーズ11.....3
	欧州製・獣害防止用資材の導入およびチェーンソー防護服の開発.....3
	第2回ふるさと巨樹名木探訪観察会を開催しました.....3
	山の歳時記(17) ヤツデ.....4
	シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国づくり(8).....5
	中部地区治山林道連絡協議会が.....6
	林野庁・財務省へ提案・要望を行いました.....6
	第59回治山研究発表会に参加しました.....7
	林業団体と県議会議員の懇話会を開催しました.....7
	わかまの森・環境行政(36) 山県市の森林づくり.....8
	木の香るさふの施設(81) 岐阜県立長良特別支援学校特別教室棟.....9
	山のおやまむし(341) 一町内盆踊り、アシナガバチの巣.....10
	森林と人を活かす知恵(83) スギ天然林の多様な姿に学ぶ.....11
	治山・林道研究課題.....12
	研究コーナー.....13
	天然更新判定チェック表の作成について.....14
	普及コーナー 下呂地域における普及活動.....13
	国有林の現場から(38).....17
	「国民の森林」としての計画づくりのために.....16
	〜長良川流域国有林見学バスツアーを開催〜.....17
	東海自然歩道のルート変更(三重県への接続).....17
	林業者向けお知らせ.....18
	市況.....18

岐阜県の森林・林業 News of the forest

# 森もりのたより

No.795 12  
2019 December



表紙●講義にて学んでいる森と木のエンジニア科学生、長野林業短期大学校学生及び森林施業プランナー研修の参加者達。

**100年先の  
森林づくり  
シリーズ11**

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29~H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

**◆100年の森林づくり計画人材育成・技術開発プロジェクト**

**欧州製・獣害防止用資材の導入およびチェンソー防護服の開発**

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムでは、林業国であるドイツとの海外技術連携事業を進めており、その取り組みとして欧州で最も普及している獣害防止用資材「TUBEX（チューベックス）」を日本で初めて導入、全県下での施工と効果測定を行っています。

また、林業者に対する安全意識が高いドイツ企業（P.S.S社）と連携して、欧州製チェンソー防護服の日本仕様の開発に取り組み、①日本人の体形に合わせたサイズ設定、②高温多湿の気候に配慮した改良を加えるなどの試作と性能評価を繰り返すことで、仕様を決定し、この度、販売開始となりました。

今後も、ドイツなど欧州の企業・大学との海外技術連携を深め、林業を取り巻く課題に対して、活路を開く一手となるような取り組みを進めていきます。



TUBEX資材施工箇所



P.S.Sチェンソー防護服

**100年の森林づくり計画人材育成・技術開発プロジェクト**

「100年の森林づくり計画（森林配置計画）」を実践するため、地域の森林づくりを支える専門人材の育成や、育林技術システムの開発、育林技術システムに係る人材の育成を進めるとともに、森林技術者の量的・質的な改善を図るプロジェクトです。

【森林文化アカデミー森林技術開発・支援センター】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL0575-35-2535 産学官連携係まで

**第2回 ふるさとの巨樹・名木探訪観察会を開催しました**

10月2日に「第2回ふるさとの巨樹・名木探訪観察会」を郡上市内で開催しました。

今回は、「林業遺産」に認定された星宮神社社叢林、美並ふるさと館を訪れ、200年以上の歴史を刻む育成林業により成立した社叢林や筏流しなど地域に伝わる運材技術などを古川秀樹さんの案内で観察した後、石徹白へ移動し、白山中居神社の境内と浄安杉を訪れ、雪深い山里で地域の宝を守り抜く様子などについて、白山中居神社禰宜の石徹白隼人さんの説明を聞いた後、樹齢1000年を超える浄安杉に到達したときには、その姿に圧倒されました。最後に白山文化博物館を訪れ、白山信仰や歴史民俗資料等を見学し、地域の人々の営みの歴史を感じ取ることができました。

今回の観察会では、山里に暮らす人達のたゆまぬ営みが巨樹や森林を支えていることに加え、巨樹が刻んできた歴史の重さを感じることができたと思います。



星宮神社と社叢林



筏流しの展示(1/2模型)  
(美並ふるさと館)



山の道具の説明(美並ふるさと館)



白山中居神社の説明



浄安杉(幹回り12.45m)



浄安杉の前で参加者一同

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

冬のヒノキ林で、白い花を咲かせたヤツデを見つけました。

ヤツデ (*Fatsia japonica*) は茨城県以南の本州、四国、九州、沖縄の海岸から丘陵の林内に自生する常緑低木で、厚くつやのある、大きな手のひらのような形の葉をつけます。

和名は大型の葉が7〜9に深裂していることによる「八つ手」ですが、切れ込みを数えてみると7つまたは9つ（奇数）に裂けてい

ます。また属名の *Fatsia* は日本語の「八」を古い発音で「ふあち、ふあつ」と読んだことと、「八手（はっしゅ）」に由来するとされます。

葉を乾燥させたものは八角金盤（はっかくきんばん）と呼ばれ、生薬では鎮痛、去痰などに処方されます。葉には有毒なβ-ファトシン、根にはα-ファトシンというサポニンなどが含まれ、過剰摂取すると下痢や嘔吐、溶血を起こし、昔はこうした成分を利用して便所のウジ殺しに用いたり、谷川に流し魚を捕ったりしました。

古来、天狗の羽団扇（てんぐのはうちわ）と呼んで、家の敷地内に植えると病魔や魔除け、厄除けになると考えられ、疫病が流行した時にはこの葉で追ひ払えば治ると信じられてきたため、社寺林や庭木など様々なところに見られるのです。

薄暗い林内でも花がよく目立つのは、球状の散形花序が集まって大きな白い円錐花序をつくるため

です。おもしろいのは上部の花序は両性花で、下部の花序は雄花、さらに両性花は雄の時期と雌の時期に分かれる点です。

一般の両性花は雄しべと雌しべが同時に熟して交配しますが、ヤツデの花の一つずつは花弁が開いた時に、雄しべは花粉が出る状態に成熟していますが、この時点で雌しべは未熟な雄性期（雄性先熟）となっています。その後、数日間は中性期（無性期）となつて、花弁と雌しべが落下すると、雌しべが成熟して雌性期となります。これは自家受粉を回避するシステムで、一つの丸い花序

内には雄しべと雌しべの両方が熟している状態はほとんど見られません。

また雄花と称しているのは、花弁と雌しべが成熟して花粉をつくるものの、雄性期が終わると雌し



▲白い花を咲かせたヤツデ

べが未熟なまま脱落する、つまり雌しべのあとに雌しべの時期がない花なのです。

昆虫の少ない冬に開花するので、実は虫媒花で、たくさん甘い蜜を蓄えてハナアブやミツバチ、オオクロバエ、キンバエなどを引き寄せて交配します。

甘い香りがする花を目にした私は、この天狗の羽団扇が日本中を厄除けしてくれることを願いつつ、年の瀬の森林散策を続けたのです。

## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

清流の国ぎふ森林・環境税」は、皆さんの生活に身近なところでも役立てられています。

## 小水力発電による環境保全推進事業

### 【事業目的】

ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくりのため、環境負荷の低いエネルギーシステムの普及・啓発を図ることを目的に、身近な水路等に小規模な小水力発電施設を設置し、その施設等を活用して環境保全学習や環境保全活動に取り組む市町村や地域団体等の支援を行っています。

### 【実施事例】

平成29年度に、豊かな水や森林など、自然エネルギー資源に恵まれた高山市奥飛騨温泉郷福地地内に、最大出力0.2kW、年間発電電力量1,050kWhの水車が設置され、街灯などの電力として利用されるとともに環境負荷の低いエネルギーシステムの普及・啓発に役立てられています。

毎年行う環境保全学習では、地元の小学生が奥飛騨温泉郷が自然エネルギー資源に恵まれている理由や小水力発電により削減される二酸化炭素の量など、環境保全について学んでいます。



発電の仕組みの学習



環境保全学習



水車回し体験

### 【事業概要】

事業実施しやすいよう、平成31年度募集から制度の拡充(下線部)を行いました!

#### ① 環境保全推進型

簡易な小水力発電施設を設置、または既存施設を活用し、その地域で環境保全学習を行う。

#### ② 環境保全提案型

小規模な小水力発電施設を設置、または既存施設を活用し、その地域で環境保全活動を行う。

※いずれの型も年1回以上5年間(交付年度含む) [11年から緩和] の環境保全学習が必須となります。

### 【補助率】

#### ① 環境保全推進型

定額(上限1,000千円) [1/2(上限1,000千円) から拡充]

#### ② 環境保全提案型

1.0kWまで: 1,000千円+100千円/0.1kW

1.0kW以上: 2,000千円/kW (上限10,000千円)

### 【事業主体】

市町村、地域団体等(県内に事務所又は事業所を有し活動拠点を置く以下の(1)~(4)団体)

- (1) 土地改良区、土地改良区連合、農業協同組合、農業法人
- (2) 環境保全事業を行う特定非営利活動法人
- (3) ボランティア活動等の社会貢献活動を行う営利を目的としない任意団体
- (4) 地域住民が中心となって、環境保全活動等を行う任意団体

### 【実施方法】

上記取組について公募を行い、第三者による評価会議の結果を踏まえて、補助対象者を決定します。

# 中部地区治山林道連絡協議会が 林野庁・財務省へ提案・要望を行いました

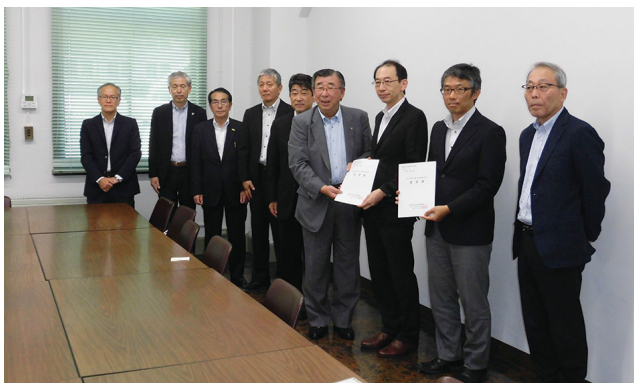
岐阜県、愛知県、長野県、新潟県、富山県、石川県、長野県の治山林道関係協会は「中部地区治山林道連絡協議会」を組織し、毎年、治山事業・林道事業に関する林野庁、財務省への提案・要望活動を行っています。今年は、8月7日に当番県の長野県治山林道協会の羽田健一郎会長（長野県長和町長）から本郷林野庁長官、太田財務省主計局長及び中澤財務省主計官（農林水産係担当）に提案・要望書を手渡し、治山事業・林道事業の内容の充実及び予算確保を要望しました。なお、当日は、長野県選出の後藤茂之衆議院議員に立会をしていただきました。



要望書を持つ左側が本郷林野庁長官、右側が羽田会長、  
長官の左側が後藤衆議院議員



要望書を持つ右側が太田主計局長



要望書を持つ右側が中澤主計官

本郷林野庁長官への提案・要望では、「農山漁村地域整備交付金等治山事業・林道事業関係予算確保」に加え、治山事業では、「豪雨災害の復旧対策や水源地の整備、事前防災・減災対策を推進するための空中電磁探査による地質状況調査」、「民有林補助治山事業の交付決定前着手届による制度創設」、「公共施設等適正管理推進事業債の算入率の更なる嵩上げと措置期間の廃止又は延長」、「治山工事への多年度債務（複数年契約）制度の導入」等を、林道事業では「林道施設の点検診断や保全整備事業実施に必要な補助事業の拡充」、「林道法面の点検診断が可能となる制度拡充」等を要望しました。

太田主計局長及び中澤主計官には、「令和2年度民有林治山事業及び林道事業に関する予算枠の確保並びに事業内容の拡充」を要望しました。また、「令和2年度で終期を迎える防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策（臨時・特別の措置）」については、関係林野予算の大きな割合を占めており、対策の終了により大幅な予算減が見込まれることから、更なる延長を要望しました。



【山林協会 瀬上 繁隆】

## 第59回治山研究発表会に参加しました。

令和元年10月1日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第59回治山研究発表会（主催：治山研究会、事務局：林野庁治山課）が開催されました。治山研究発表会は、治山事業の発展に資することを目的に、全国の治山事業関係者が集い、日頃から研究してきた技術研究等の成果を発表する場です。今回の発表会では4部門、全41項の発表があり、岐阜県からは「調査・計画策定時の効率性向上を目指した取組」部門で、航空レーザ計測データの活用事例として「効率的な保安林整備事業の計画立案に関する一考察（西濃農林事務所）」を発表しました。この部門における研究成果の大半が、治山事業におけるドローンや航空レーザ測量の活用に関連した内容でした。

この発表会が治山事業関係者の励みとなり、これからも治山事業の発展のため研鑽されることを期待します。

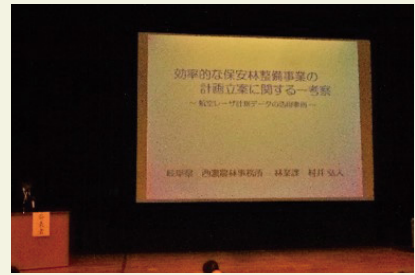


写真-1 岐阜県代表の発表



写真-2 パネル展示



【治山課 加藤 里実】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(3167)治山課まで

## 林業団体と県議会議員の懇話会を開催しました

県下の林業5団体（（公社）岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会、（一社）岐阜県林業経営者協会、（一社）岐阜県森林施業協会）は、岐阜県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の御協力、御指導のもと、岐阜県議会議員の方々に、岐阜県の森林・林業・木材産業の現状と課題及び予算確保や新たな施策の要望・提案を行う「林業団体と県議会議員との懇話会」を毎年開催していますが、今年は、10月10日（木）に岐阜県議会第1会議室で開催しました。

懇話会には、議員活動や公務ご多忙の中、38名の県議会議員の皆様にも、また、荻巣林政部長を始め13名の県幹部の方々にご出席頂きました。



県議会議員の方々に提案・要望を説明する林業団体

懇話会では、各団体からそれぞれの抱える課題、その解決のための予算の確保、新たな施策の提案・要望を行い、県議会議員の方々からは、市町村の林業行政への支援強化、森林技術者の労働災害を防ぐ拠点の整備、高性能林業機械の導入及び更新に対する支援、森林技術者の確保・育成、**産直住宅をはじめとする県産材住宅の建設促進などに関する提案・要望**内容について、団体に対し詳しい説明が求められるなど活発な議論が行われました。また、荻巣林政部長から要望・提案に対する回答、県主催のイベントについて情報提供が行われる等有意義な懇話会となりました。

【山林協会 瀬上 繁隆】

# 山県市の森林づくり

山県市の森林づくり施策を紹介します。



## 森林の概要

山県市は岐阜市の北部に位置しています。森林面積は18,633ha、森林率84%、人工林率は約57%を占めており県下でも有数の林業地です。山県市の特徴として、国有林の面積が少なく、民有林が多い所です。

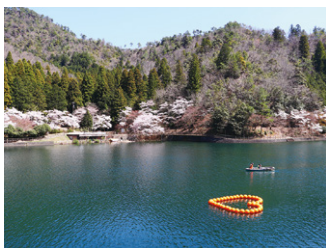


大桑城

林道・作業道の整備や施業の共同化・機械化などを図り、豊かな森林資源の育成に努めるほか、自然環境の保全や美しい景観形成に配慮しながら、自然学習や余暇空間としての活用を進めます。また、災害の未然防止と水源かん養などのための森林の保全等に努めます。毎年、清流

## 山県市森林づくり会議

の国ぎふ森林・環境基金事業を活用し、里山林の整備を行っています。今年度の町村提案事業では、大河ドラマ「麒麟がくる」にちなみ「明智光秀ゆかりの地」で、森林の中に地元の公園と里山林が共存しながら歴史に登場する人物の生誕地を紹介するなど、森林と地域と歴史を結びつけ地域の活性化を狙っています。



伊自良湖



山県市 QRコード

戦後植林した人工林資源が利用可能な段階にありますが、路網整備や施業の集約化の遅れから生産性が低く、材価の低迷、森林所有者の林業への関心の低下、林業従事者の減少等により森林の管理に支障を来すことが危惧されます。こうした状況を踏まえ、森林整備の促進に必

要な事項を検討するため、「山県市森林づくり会議」が平成18年1月に発足しました。所期の目的を達成するため、作業路開設と高性能林業機械を活用した利用間伐の実施、子供たちを対象とした林業体験、市森林整備計画書への意見反映、先進地視察等へ精力的に活動を行ってきました。その結果、間伐を柱に森林整備や作業道の開設が進みました。これからも、当会議の活動を森林づくりに寄与できる事を切望します。

## 山県市名山めぐり

「自然に癒やされたい!」「山ガールにあげられちゃう♡」そんなあなたは山県で今すぐ山デビュー☆初心者さんでも挑戦しやすい三名山をご紹介します。

### ●金ヶ谷山 標高696m

お釜を伏せたような丸みを帯びた山です。伊自良湖の大切な水源、甘南美寺との関わりが深く僧たちが修行した行者岩や33か所あると言われる石仏が目を引きます。

### ●舟伏山 標高1040.3m



イワザクラ 名山めぐり

見所はこの山の人気を不動のものにしたイワザクラをはじめ、コバイケイソウ、カタクリの群生地などがあり、登山者を

楽しませてくれます。山頂からは能郷白山、恵那山などが一望できます。

### ●相戸岳 標高671.7m

地元の集落の名前をとって相戸岳と呼ばれています。半日で周遊できる低い山でありながらすこぶる展望が良く、高賀三山をはじめ、舟伏山、天王山、恵那山等のすばらしい展望が得られる山です。また急峻とアップダウンのある尾根歩き、険しい岩場など変化のある山歩きが楽しめます。

## 木育による森林へのふれあい

8月5日と6日の2日間、みやまの森で「みやまの森で木とふれ合う2日間」と題し色鉛筆作りなどを行いました。この事業は、清流の国ぎふ森林・環境基金事業を活用し行なったもので、当日は市民30名が参加し色鉛筆作りを行いました。色鉛筆は、4種類の木を使って作製し、木の色、堅さなどそれぞれの木の特性を、鉛筆作りを通して学びました。参加者は、「思ったより木が堅くて、穴を開けるのが大変だった」と話していました。



色鉛筆づくり

●詳しい内容を知りたい方は

TEL058112216830

山県市役所農林畜産課まで



# 岐阜県立長良特別支援学校特別教室棟

岐阜市長良1237番地1



内装木質化した図書室

## 施設概要

事業年度	平成29年度
事業主体	岐阜県
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造2階建 823.37㎡ うち対象分 図書室 55.38㎡
施設用途	学校施設
木材使用量 使用樹種	6.07㎡ ヒノキ（県産材100%）
全体事業費	10,649千円（県有施設木質化等推進事業）
設計者	株式会社 建築計画研究所
施工業者	野々村建設株式会社
工期	平成29年6月20日～平成29年9月29日

## 施設の経緯

当校は、筋疾患、心肺疾患、精神神経疾患、重症心身障がい、その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする児童生徒、また身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする児童生徒が学ぶ、「元氣な病弱教育」をすすめる特別支援学校です。

施設を利用する皆さんに、木の暖かみや温もりを感じていただくことができるよう県産材を活用した内装木質化の改修工事を行いました。



## ここに注目!!

床や本棚、扉も木質化された図書室は、木の香りを感じながら落ち着いて読書することができます。

図書室につながる廊下も腰壁を木質化、木の感触を楽しみながら通行できるようになりました。

## 利用者の様子

木の持つ暖かみや温もりを感じる快適な空間は、児童生徒の読書熱も旺盛となり、毎日図書室に通う児童生徒もいるほどです。



利用する児童の様子

■問い合わせ先  
岐阜県立長良特別支援学校  
TEL 058-233-7418



# 山のおじゃまむし



## 一町内盆踊り、アシナガバチの巣【第341回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

今年の夏はまさに猛暑。異常に暑かった。特に梅雨明け後は、35度以上の日が何日も続いた。これだけ暑いと、後期高齢者の私にはこたえた。体がだるくて、食欲がないのである。こうなると気力も萎えてくるのか、あれだけ好きだった虫採りにも行く気が起きなくなった。これでは駄目だと思ふものの、暇があれば横になってテレビを見るという生活。こんな時、町内の盆踊り大会が近づいて来た。この盆踊りは前から楽しみにしていた。孫のチビちゃん二人が太鼓をたたくからである。その日が来た。ところがこの日も朝から異常に体がだるくて、何もする気が起きないのである。盆踊りへ行くのは止めようと思った。一日中寝て過ごした。それでも体は回復しなかった。午後5時。盆踊りの歌が流れてきた。チビちゃんの太鼓たたきが始まる時間だ。その姿が目に見えてきた。不思議なことに体が楽になってきた。会場へかけつけた。チビちゃんは「お爺ちゃん、来てくれたの」と嬉しそうであった。この笑顔。私も嬉しくなった。

× × × ×

太鼓の音色で踊りが始まった。皆が踊り出した。チビちゃんたちは汗をかきながら太鼓を叩いていた。先生は80半ばの老人。大きな声で指導している。子供たちへの愛情と熱意が伝わってきた。しかし、この先生、身を引きたいらしい。教えるのがきつくなり、体が持たないからだという。それでも続けているのは、太鼓が生き甲斐なのだと思う。チビちゃんを含め子供たちの袍(ばち)さばきは見事であった。ここまでにした先生の教え方。もう少し続けてほしいと思った。そのうちに人が踊り出し、だんだん増えていった。しかし、ほとんどが素人。手を振ってノロノロ歩いているだけだ。途中から浴衣姿の婦人の集団が加わり、踊り始めた。手と足の動きが実に見事で、これが盆踊りだと思った。その後も人が次々に増え、大きな輪となった。その中にもんぺ姿の老女がいた。歳は80後半?背が低い上腰が曲がっているので、動作は鈍い。それが踊り出すと、手や足の動きは皆と同じ。見事な踊りであった。休憩となった。老女を見て驚いた。普通に歩けないのである。手押し車を押して歩いているのである。それが踊り出すとあの見事な舞い?しかも休憩をはさんで2時間も踊っているのである。盆踊りで踊りを楽しむ。これが老女の生き甲斐。太鼓の年老いた先生と同じだと思った。子供たちに太鼓を教えている先生と踊っている老女。この姿が心に残った。寝ていては駄目だと思った。

× × × ×

二日目。この日も猛暑日。朝から暑い。やはり体がだるい。しかし、今日は動いた。まず、外で飼っているオオクワガタ成虫の飼育槽の掃除を始めた。しかし、どのオオクワガタも元気ない。

餌を与えても近づかないし、仰向けにするとそのままなのである。これは熱中症だ。そんな気がしたので、涼しい室内に移動した。しばらくしたら動き出した。明日だったら全滅したかも知れない。次に金魚とメダカの水槽の掃除をした。夏は水温が高くならないよう、水槽の上に日よけを置いている。しかし、それでも水は熱くなっている。この水でよく生きているものだと思った。ところが、メダカ容器1槽の日よけが落ちていた。水面には死亡している多数のメダカが浮かんでいる。全滅であった。水は湯のように熱かった。これは私のミス。メダカには悪いことをしたと思った。さらに蜂の巣探しをした。娘から子供が刺されるからと何回も言われているからである。真剣に探した。3個見つかった。しかも地面すれすれの所とか庭木上部の葉が繁茂している中など、簡単には見つからない所に作っていた。今までは主に家屋の軒下であったが、ここではすぐに見つかるので場所を変えた。ハチが賢くなったのだと思った。このほか草引きや庭木の枝払いなどをした。汗だくになったが、気持ちよかった。



▲密集している枝の中に造った巣

× × × ×

二日目は昨日よりさらに大盛況であった。開始前からビールを飲み始めたグループがあちこちで見られた。その一つが我が家。喉を通りすぎるビールの味。昨日より美味しかった。これは昼間働いて汗を出したからだろう。盆踊りは昨日と同じ手順で進んだ。チビちゃんたちは真剣に太鼓を叩いていた。時々聞こえる先生の大きな声。それに応えるチビちゃんたち。一杯太鼓を叩く。絵になる光景であった。踊子たちで目に付いたのは、やはり浴衣姿の婦人の集団。やはり見事な踊りだ。ところがあの老女の姿がない。何か物足りなかった。昨日踊り過ぎて疲れたのだろうと思った。しかし、そうではなかった。少し遅れて老女が姿を見せたのである。曲がった腰で歩くのがつらそうだ。それが踊り出すと一転して軽い足取り。昨日と同じだ。ひたすら踊っている。踊りが終わった。しかし、いつもと違う盆踊りだった。太鼓を教えている老人と、踊っている老女の姿に心が打たれたからである。私の趣味は昆虫採集。これを採って調べて記録に残す。これが生き甲斐だった。これが崩れかけているので直さなければと思った。これを教えてくれた今回の盆踊り大会。思い出に残る二日間であった。





▲秋田の天然スギ



▲最上峡の天然スギ



▲阿賀町の天然スギ



▲佐渡の天然スギ



▲志賀町の天然スギ



スギ天然林はおもしろい

日本は、各地にスギの天然林が分布しています。多くは局所的な分布ですが、分布地は意外と多く、かつて、自然界にスギが豊富に存在したことが想像できます。

スギ天然林の林相や樹形は、人工林のスギを見慣れた目には、時として奇異に映るかもしれません。しかし、そこからスギの性質を知ることができ、また、自然界で生きるスギのたくましさを垣間見ることができます。

各地のスギ天然林

天然スギと聞いてまず思い浮かべるのが、日本三大美林(天然林)の一つ、秋田スギではないでしょうか。秋田のスギ天然林の多くは、伐採後に実生から更新した天然生林で、利用しながら管理されてきたものです。それらは、純林に近い林相を呈しています。

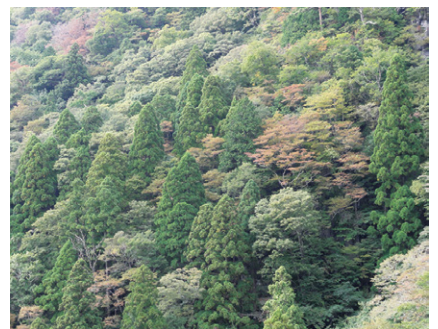
同じ東北地方でも、最上峡(山形)の天然スギは、尾根に分布し、樹形は株立ちと、秋田の天然スギとは様相を異にしています。

このような株立ち樹形のスギは各地にあります。例えば、新潟県阿賀町の天然スギも株立ちをしています。こちらは雪上伐採による、「いわゆる」あがりこでしようか。

スギは水分の多い立地を好むので、天然林は豪雪地帯に多く分布します。豪雪地帯のスギは、積雪により下枝が地面に押しつけられ、接地箇所から発根して伏条樹形を呈することがあります。佐渡や立山、芦生(京都)のスギによく見られます。

また、天然スギは広葉樹との混交林をつくることもよくあります。芦津(鳥取)の天然スギは、ブナやミズナラと混交し、広葉樹から頭一つ抜け出すようにして立っています。

滋賀県志賀町の扇状地に生える天然スギは、荘厳さこそありませんが、スギが生える立地を教えてください。私たちは、スギ天然林から多くのことを学ぶことができます。そこには、これからの森林管理のヒントがあるかもしれません。



▲芦津の天然スギ

## 治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

## 瑞浪市稲津町小里地内で発生した土石流災害について

東濃農林事務所 神戸 努

### はじめに

平成二十九年七月に瑞浪市ナギ下地内で土砂災害が発生し、災害関連緊急治山事業を実施した。平成三十年七月豪雨では岡山県、広島県などで土砂災害が多発し、花崗岩風化によるコアストーンが注目された。当箇所も花崗岩地帯であり巨石が点在しているという点で共通するため、改めて実施している治山事業の妥当性や課題について考察した。

### 災害の状況

平成二十九年七月、岐阜県に台風3号が接近し、昼過ぎから夕方にかけて時間30ミリを超す大雨であった。観測記録を確認すると、前日まで降雨はなく当日の短時間集中的な降雨で被災したことが分かった。

溪流は市道の下を横断していたが、今回の豪雨では市道に土石・流木が流出し、道路沿いの民家へも被害を与えた。



現地を調査したところ、急激な降雨により尾根付近で発生した小規模な土砂流出が起因となつて、溪流内の堆積した土砂を巻き込み土石流となつて流出したのではないかと考えた。

### 災害関連緊急治山事業の概要

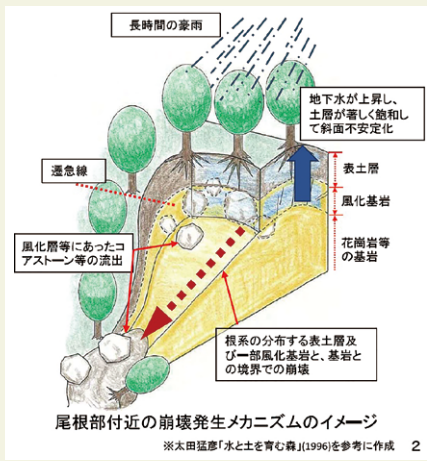
谷止工5基と倒木処理を実施した。谷止工は、溪岸侵食の拡大防止と渓床勾配の緩和を目的として、階段状に配置。

事業完了後には約250mの区間で渓床勾配が2分の1に緩和されるため、保全対象への土砂流出は防げるものと考え

### コアストーンについて

岐阜県の東濃地域は巨石が多く、ナギ下地区の工事でも確認されたため、土砂中の巨石(コアストーン)について確認を行った。

林野庁から示された「平成三十年七月豪雨を踏まえた治山対策検討チーム中間とりまとめ」では広島県・愛媛県での土砂災害の発生メカニズムは、数日にわたる長時間の大雨により、雨水が凹地形に集中し土壌の飽和を伴いながら深い部分まで浸透し、基岩との境界などを滑り面として崩壊、また、通常崩壊しにくい尾根部付近でも崩壊が発生、花崗岩等の脆弱な地質地帯に集中しており、風化層にあつた巨石を巻き込んで集落まで巨石が到達し被害が拡大した。とまとめられている。



ナギ下地区の現場にて再度溪流を調査確認した結果、この地区で確認できる巨石は1.5m程度である。

上流部の多くは岩盤が露出し、V字谷となっている。

転石が溪流内に散在しているが、異常堆積している土砂はない。

これらにより、2mを超えるような巨石を含んだ土石流が発生する可能性は低く、災害関連緊急治山事業で設置した施設は妥当であると判断した。

### まとめ

林野庁の中間とりまとめでは事前防災・減災対策として、対策を講じる箇所を選定基準などが提案されているが、今後治山事業を計画するにあたり、次の2点が課題と考えた。

1. 山地災害の発生しやすさと保全対象に与える被害の大きさをリスク評価方法の確立
2. コアストーン対策を考慮する場合の天端厚や袖部の補強対策などの具体的基準方針の策定

今後は、これらの課題を整理し、体系化していくことにより、必要な箇所での必要な対策ができるようになると思われる。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0572-123-1111

東濃農林事務所まで



## 天然更新判定チェック表の作成について

森林研究所 ● 久田 善純

近年、針葉樹人工林を皆伐したあとの更新方法として、人工造林ではなく天然更新を選択する事例がみられます。

天然更新とは、自然に落ちた種から出た稚樹や、萌芽枝（伐根から新たに生えた芽）が成長して森林が育つことです。岐阜県では天然更新の成立条件を、伐採後5年経過時に「更新樹種（高木性樹種）が、高さ50cm以上かつ競合植物（更新樹種の成長を妨げる植物）の高さ以上をもって、1ha当たり3千本以上成立すること」としています。

しかし、針葉樹人工林のなかには母樹（種子の供給源）となる高木性の広葉樹林から遠かったり、前生稚樹や埋土種子が少ないなど、天然更新に不利な箇所があります。

### 確実な更新のために

森林の多面的な機能を維持していくためには、確実な更新方法を選択することが大事です。

そこで、針葉樹人工林の伐採計画時に、あらかじめ天然更新の阻害要因

の有無や更新補助作業の要否などを予測し、適切な更新作業を促すためのチェック表を試作しました。

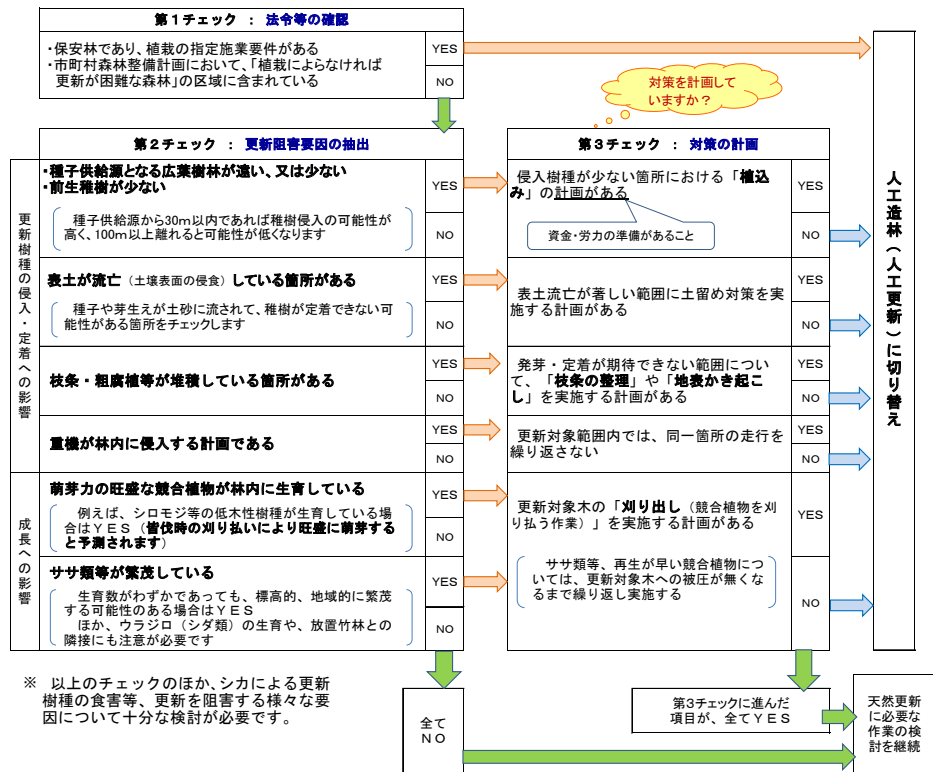
### チェック表の活用

第1チェックとして法令等を確認します。制限がある場合は天然更新を選択できません。次に、第2チェックとして現地における更新阻害要因を洗い出し、第3チェックとして阻害要因を低減する対策の計画を確認します。

実際に針葉樹人工林皆伐跡地において天然更新を試みた箇所を調査したところ、高木性樹種の侵入本数は十分あるものの、競合植物の高さを超える個体が少なく、更新補助作業の「刈り出し」が必要な事例が多く見られたことから、同作業の計画の有無を確認することは重要と思われる。

このチェック表は、森林所有者や林業事業者が伐採、更新を計画する際に、市町村担当者や県林業普及指導員と共に適切な更新方法を確認しあうツールとして活用することを期待して作成しました。特に、更新補助作業を計画することの重要性を認識していた

< 針葉樹人工林皆伐跡地の更新方法の確認（阻害要因の抽出と対策の確認） >



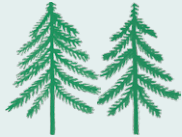
大きくように構成しています。今後、調査事例を増やし、指標となる具体的な数字を示すことができるよう検討していく計画ですので、現場で運用した際の問題点などについてご意見、ご感想をお寄せいただきますようお願いいたします。

詳しい内容を知りたい方は  
TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで



# 下呂地域における普及活動



■下呂農林事務所 林業課 林業普及指導員 瀧澤 嘉男

下呂農林事務所管内は、岐阜県の中東部に位置し、下呂市1市からなる地域です。地域の森林面積は、約78千ヘクタールで、そのうち約7割にあたる約55千ヘクタールが民有林です。また、民有林の人工林率は県平均を大きく上回る62%でその約7割がヒノキとなっています。

地域の森林整備の担い手として、管内には2つの森林組合と13の林業事業者があり、79名の森林技術者が従事しています。

当地域には、林業事業者以外にも、各地区に森林造成組合（森林所有者で組織する組合）があり、その中のリーダー的存在である自伐林家が自己所有林や地域の森林を自ら施業するなど様々な活動を行っています。

今回は、当管内における林業普及活動の事例を紹介します。

## 主伐・再造林の推進に向けて

下呂管内の民有人工林は、約7割が利用期を迎える一方で、若い森林が少なく森林の少子高齢化ともいえる状況にあります。そのため、将来に渡り森林資源の循環利用を図る上で、適切な伐採と再造林により年齢構成を平準化していくことが課題となっています。

下呂農林事務所では、平成29年度に皆伐、植栽をテーマに主伐・再造林研修を実施しました。（詳細は、平

成29年11月（No.770号）、平成30年11月（No.782号）の普及コーナーをご覧ください。）また、平成30年度には、低コスト施業技術をテーマに主伐・再造林研修を実施しました。今回は、それらの研修に引き続き今年度実施した主伐・再造林研修の概要について紹介します。

今年度は、「先進地での取組に学ぶ」をテーマとして、岐阜県内で比較的、主伐・再造林が進んでいる郡上管内の皆伐・再造林施工地に赴き研修を実施しました。講師は、郡上農林事務所の和田林業普及指導員にお願いしました。

研修に赴いた皆伐・再造林施工地では、0・45BHベースの車両系作業システムで皆伐を実施していました。特徴的な取り組みとして、森林所有者側の費用負担なしで枝葉等、いわゆるD材を可能な限り搬出していました。また、機械地拵えの実施、獣害防止柵やシェルターを用いず（くくり罠を設置した鹿捕獲あり）カラマツの低密度植栽を実施していました。今回、研修に赴いた施工地の特徴を換言しますと、車両系作業システムによる大規模皆伐でスケールメリットを求めるだけでなく、各作業での経費削減を併せて実施することで、森林所有者への還元額を確保しているということだと思います。

今後、下呂管内の林業事業者には、平成29年度から継続実施してきた研修内容を参考として、下呂地域に適用した形で主伐・再造林に取り組みられることを期待しています。



▲皆伐・再造林施工地での研修

## 森林経営管理法等への対応

今年度から、森林経営管理法や森林環境譲与税が始まりました。これらの新たな制度の趣旨に則り、下呂市が地域の関係者の協力を得ながら、効果的に施策を講じていく必要があること等から、今年度、主伐・再造林研修の一環として、郡上市、郡上森林マネジメント協議会（以下、「郡上マネ協」とします。）、他県事例、それぞれの取り組みを学ぶ座学研修を実施しました。

講師は、郡上市林務課の河合課長、河本主幹、籠原課長補佐、郡上マネ協の樋口事務局長、森林文化アカデ

ミーの下野林業普及指導員にお願いしました。



▲郡上マネ協による講義

郡上市林務課から、主に森林経営管理法や森林環境譲与税に関する郡上市の取組についてご説明を頂き、その後、樋口事務局長から、郡上マネ協の概要、現在の取組と今後について、ご説明を頂きました。また、下野林業普及指導員からは、市町と林業事業者が連携した組織の優良事例として愛媛県西予市や久万高原町の取組み事例について、ご説明を頂きました。

下呂市では、新たな制度に関する予算を9月補正予算にて計上したところであり、年度当初から事業を開始している郡上市や郡上マネ協の取組は非常に参考となるものでした。また、西予市や久万高原町の取組み事例については、現在、下呂市で組織されている下呂市森林集約化

協議会のあり方を考える上でも示唆に富むものであり、非常に参考となるものでした。

### 📌 リスクを考慮した作業道開設

効率的に木材生産をするためには、適切な路網整備が不可欠です。当管内では、平成30年の梅雨前線豪雨により多くの山地災害が発生したこともあり、昨年度、岐阜県森林研究所に講師をお願いし、山地災害リスク管理を主な内容とした作業道開設研修を実施しました。(詳細は、平成30年11月(No.782号)の普及コーナーをご覧ください。)今年度は、山地災害リスクを考慮した作業道開設の計画能力向上を目的として、より実践的な研修を実施しましたので、その概要について紹介します。なお、講師は、昨年度に引き続き白田専門研究員、和多田主任研究員にお願いしました。

### 📌 CS立体図等を活用した路線計画

昨年度も座学を実施していますので、今年度は、絞り込んだ内容で説明を受けた後に、研修参加者それぞれが、実際に森林基本図、傾斜区分図・CS立体図を活用し路線計画を行いました。その後、事前に提出頂いていた1計画を事例として、講師から、具体的に改善点や留意点等について指導を受けました。

研修参加者からは、「今まで森林基

本図で路線を計画していたが、傾斜区分図やCS立体図を活用すれば現場に行かなくても分かることが多い」という声も聞かれ、CS立体図等を活用した路線計画が、リスク管理の面だけでなく、業務効率化の面からも有効であると思われました。



▲CS立体図等を用いて路線計画

### 📌 現地での路線計画検討

机上での路線計画と同様に、事前に提出頂いていた1計画を例として実際に路線を現地踏査しました。踏査の中では、作業道開設前の山を見てリスク箇所をどのように判別するかといった内容について講師から説明を受けました。

研修後のアンケートでは、現地踏査で学んだことについて有用との声があった他、「やむを得ず通過しなければならぬ危険箇所への対応方法について知りたい」との要望もありました。今後は、その要望にも応え

られるよう研修内容を更に充実させていきたいと考えています。



▲現地踏査でリスク箇所を確認

### 📌 終わりに

近年、旺盛な木材需要に 대응するため、木材生産量の増加が強く求められています。その中で、古くからの林業地でもある当地域が今後も永く林業を営むためには、経済性と環境保全との調和を考慮した上で木材生産の増加に取り組み、次世代へ森林づくりを繋いでいくことが不可欠です。

この大きな課題に答えられるよう地域の関係者のみなさんと一緒に考え、取り組んでいきたいと思えます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0576-15213111

下呂農林事務所まで

# 「国民の森林」としての計画づくりのために 長良川流域国有林 見学バスツアーを開催

平成二十五年四月に国有林野事業は一般会計へと移行しましたが、その際に新たに策定された、国有林野の管理経営に関する基本計画には、「民有林に係る施策との一体的な推進」等、国有林を名実ともに「国民の森林」とする方針が強く示されています。

一方、民有林施策における地域森林計画と同様、国有林においても、全国森林計画に即した流域レベルでの「国有林の地域別の森林計画」が策定されています。さらに、国有林野の管理経営に関する法律、国有林野管理経営規程といった法律等に基づき、上位の計画と整合した具体的な伐採・造林計画である「地域管理経営計画」、「国有林野施業実施計画」（二つで一冊となっています）を策定することとしています。

本年は、岐阜森林管理署が所管する長良川森林計画区における第六次国有林野施業実施計画（令和3年4

月～令和8年3月）の予備編成の時期にあたります。



▲第五次全国国有林野施業実施計画書と補助簿

そこで、計画の検討段階で、地域住民や行政、林業関係者等の皆さんからご意見をいただくため、国有林見学会（バスツアー）を開催することとしました。

これまで、岐阜森林管理署では、計画の検討段階において「地区懇談会」の開催を行ったことはありましたが、今回のように、実際に国有林の現地をご覧いただく取り組みは初

挑戦となります。

今回の見学会には、長良川流域の七市二町から、地域住民、市町、県農林事務所、林業事業者等の皆さん、約10名のご参加をいただきました。

ところで、長良川流域は、流域の森林総面積17・7万ヘクタールのうち、国有林はわずか3%、5千ヘクタール弱に過ぎず、県平均国有林野率約21%と比べても、国有林が少ないことが特徴です。そのため、先に述べた「国民の森林」としての国有林の存在感が希薄な地域とも言えます。だからこそ、日頃目にするのではない国有林を実際にご覧いただくことで、今回予備編成を行っている第六次国有林野施業実施計画が、民有林と国有林を通じた、地域の森林の政策課題に寄与する大切な計画であるという認識を少しでも共有していただきたい、という願いを込めました。



▲長良川流域の国有林

当日は、台風21号接近の影響で、残念ながら、現地見学会は中止となりました。しかし、代わりに屋内で実施した意見交換会では、参加者から「国有林の機能類型はどのようなになっているか」といった質問や、「モデル林を設定し、広く見ていただけるようにしてはどうか」といった意見もお受けすることができました。



▲意見交換会の様子

末筆になりますが、ご多用の中、今回の現地見学会にご参加いただきました皆さんに感謝を申し上げますとともに、配慮が十分に至らなかった点につきましてはご容赦をいただきたいと考えます。

（岐阜森林管理署）





# 東海自然歩道のルート変更（三重県への接続）



東海自然歩道は、東京から大阪を結ぶ長距離自然歩道です。しかし、災害で歩道が崩れたり危険がある場合は部分的に通行止めをせざるを得ません。津市から三重県に抜けるルートはまさにその一例で、危険のため立入禁止にされており、岐阜県から三重県には接続していないのが実情です。

この問題を解決するため、まずは危険箇所を復旧できないか現地調査を行いました。現地を確認したところ、過去に何回か補修した形跡はあるものの、土砂の崩壊や落石で歩道の存続は困難であると判断。三重県に接続させるルートとして、新たに養老山頂登山道を東海自然歩道に指定する取り組みを始めました。

養老山頂登山道は、県が昭和58～59年に整備した歩道で、尾根沿いに歩道を敷設しているので雨等で荒れる可能性が低く、丈夫な歩道であること。三重県に接続できること。展望の良い場所があり、利用者の安全性はもちろん、東海自然歩道としての魅力が向上すると考えました。

手続きとしては揖斐関ヶ原養老国定公園を通過するので、公園事業の変更が必要です。自然環境審議会へ諮問して決定し、県公報で公示しました。

来年度にも予算を確保して、養老山頂登山道の標識に東海自然歩道のプレートを併設して利用者に周知を図ります。



東海自然歩道ルート変更図

【環境企画課 大島、奥中】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(2698) 環境企画課自然公園係まで

## 森林・林業関係イベントカレンダー（1～2月）

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
1月10日(金)	造林作業の指揮者等安全衛生教育	●講習時間：8:50～16:30 ●申込：開催日の20日前まで ●受講料：11,200円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月15日(水)～ 1月16日(木)	木材加工用機械作業主任者技能講習	●講習時間：15日～16日 8:30～17:40 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月21日(火)～ 1月22日(水)	リスクアセスメント担当者安全衛生教育	●講習時間：21日(林業) 9:20～16:30 22日(製造業) 9:20～16:30 ●申込：開催日の2週間前まで ●受講料：12,000円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月3日(月)	刈払機取扱作業安全衛生教育	●講習時間：9:20～15:30 学科 15:30～16:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月4日(火)～ 2月5日(水)	伐木・チェーンソー作業従事者特別教育	●講習時間：4日 8:30～17:40 学科 5日 8:30～17:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：19,250円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	4日 学科 ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 5日 実技 県森運岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月18日(火)～ 2月21日(金)	フォークリフト運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転免許所持者	●講習時間 1日目 8:30～16:30 学科 16:30～17:30 学科試験 2～4日 8:00～17:30 実技・試験 ●申込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



国から出向して治山課に配属されてから2年目となりました。1年たってやっと慣れてきましたが、当初は県の常識が全く分からない上、職員が当たり前のように使用している略語も分からず会話についていけません。[9月補正]の略語である「9補(キューホ)」は「急歩?」(急いで歩くこと?)、「3月補正」の略語の「3補(サンボ)」は「散歩?」などと解釈するようなレベルでご迷惑をおかけしました。

県庁に来てから現場に出ることが少なくなったため運動不足が深刻になりました。2年目の健康診断では体重は変わらないのに体脂肪率がアップしており、これはまずいと思い休日、時間があれば近くの生活環境保全林に行き軽い登山をするようにしています。生活環境保全林はちょっと運動したいときに大変おすすな場所です。まだ行ったことのない生活環境保全林にもいつか行ってみたいと思っています。

「森林のたより」編集委員 加藤 里実

### イベント情報

#### 連載

- 山の歳時記(173)
- 山のおじゃまむし(342)

#### 清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(84)

#### 木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(82)

#### 清流の国ぎふ森林・環境税

#### わがまちの森林・環境行政(37)

#### 森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

#### 市況情報

#### その他

1月1日発行

1月号  
予定

## 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1710回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,400	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	11,500	—		
			20~22cm	13,600	—		
			24~28cm	12,800	18,300		
			30cm以上	11,000	21,800		
	6 m	16~18cm	14,600	—			
	11月12日	ひのき	3 m	16~18cm	17,500		—
			4 m	20cm以上	14,500		—
				16~22cm	17,800		—
		6 m	24~28cm	14,800	—		
30cm以上			14,500	—			
16~18cm			22,000	—			
第1286回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,000	—		
		4 m	24~28cm	11,000	—		
			30cm以上	11,000	31,000		
	ひのき	3 m	16~18cm	17,300	—		
		4 m	20~22cm	17,300	—		
			24~28cm	14,000	—		
			30cm以上	14,000	39,000		
		6 m	16~20cm	27,000	—		
		11月6日	まつ	4 m	24~28cm	8,000	—
	30cm以上			8,000	—		
	ひめこ		4 m	24~28cm	12,000	13,000	
			30cm以上	14,000	18,000		
	第1616回 東濃共販所	すぎ	4 m	24~28cm	12,000	13,000	
5 m			30cm以上	—	—		
			4 m	24cm以上	16,000	—	
11月7日		すぎ	3 m	16~22cm	12,500	—	
			4 m	24~28cm	12,800	15,000	
		ひのき		3 m	30cm以上元	13,200	60,000
			16~22cm		17,600	30,000	
			4 m	24~28cm	15,000	30,000	
				30cm以上元	19,500	250,000	
			6 m	13cm以下	9,000	—	
	24~28cm			15,500	34,000		
	まつ	4 m	22~28cm梁	7,000	—		
		30cm以上元	19,000	160,000			

## 木材市場

11月7日 記念市(ぎふ優良材展)を東濃共販所で開催

### 【商況】

スギ、ヒノキ構造材向けは、価格、需要量ともに堅調、直送による販売が有利。スギ3m柱向けは強保合。スギ、ヒノキ合板向けは、潤沢な在庫を背景に保合。製紙向けパルプ材は、大手工場の納材制限はほぼ解除。発電向け未利用材は、継続して荷動き活発。(岐阜)

スギ、ヒノキ共に出材量は横ばいだが良材が少ないこともあり、単価は横ばい。良材は売りやすいが欠点材は相変わらず売りづらい。合板、集成材用カラマツが強い。ひめこ材は若干単価は上向いた様子。広葉樹は伐採時期に入ったにもかかわらず出材量は少なく、並材中心で買い気は弱い。(飛騨)

ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には継続して旺盛。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛、並材は3m・4m(16~28cm)長良川木協、森の合板への供給(システム販売)に伴い横ばい。スギ、ヒノキともに6m材は需要減。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (10月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	( 2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	( 614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	( 2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	( 2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	( 2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	( 1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	( 2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (10月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米梅	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

### 木取り

#### 木材用語一口メモ

丸太から、必要な寸法・品質の木材を製材すること。年輪に対して垂直に切り取った板材が柎目材で、水平に切り取った板材が板目材になります。柎目材は板目材に比べると木取りが複雑で歩留まりが悪くなりますが、板の両面の収縮差による反りや狂いが小さいといった利点があります。

